

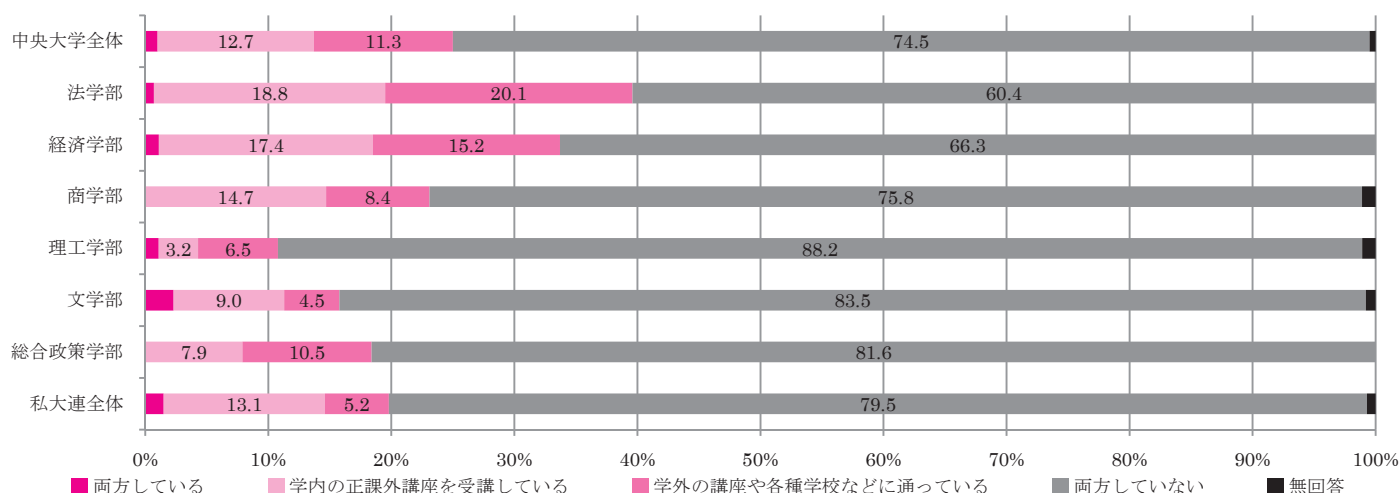
# VI

## 正課外活動

- ◆ インターンシップに参加したいと思うか・・・  
中大生全体の8割近くが、『すでに参加した』『ぜひ参加したい』『興味ある』と回答、3年次生では、5割近くが『すでに参加した』と回答
- ◆ ボランティア活動の参加理由・・・  
『社会勉強』『困った人を助けたい』『自分を試したかった』

Q37. 現在、資格、技術取得、受験等のために、学内の正課外講座を受講したり、学外の各種学校などに通っているか。

本学全体では、何かしら受講している（「両方している」「学内の正課外講座を受講している」「学外の講座や各種学校などに通っている」と回答した学生は、25.0%と私大連（19.8%）と比較して、高い割合となっている。特に、法学部、経済学部の受講率が高い。「学外の講座や各種学校などに通っている」と回答した学生は、1年次（6.3%）、2年次（8.4%）と上昇し、3年次がピーク（15.9%）となっている。

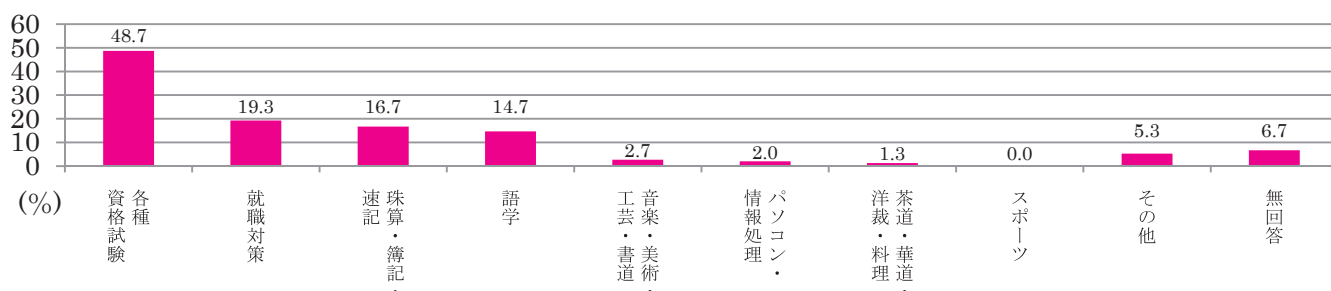


Q38. どのような講座等か。主な講座等2つまで選択。（Q37で「学内の正課外講座を受講している」「学外の講座や各種学校などに通っている」「両方している」と回答した学生のみ）

学部毎に特色があり、

- 法学部 「各種資格試験」（69.5%）
- 経済学部 「各種資格試験」（35.5%）、「就職対策」（35.5%）
- 商学部 「珠算・簿記・速記」（63.6%）
- 理工学部 「各種資格試験」（70.0%）
- 文学部 「語学」（33.3%）、「各種資格試験」（23.8%）、「就職対策」（23.8%）
- 総合政策学部 「語学」（42.9%）、「各種資格試験」（42.9%）

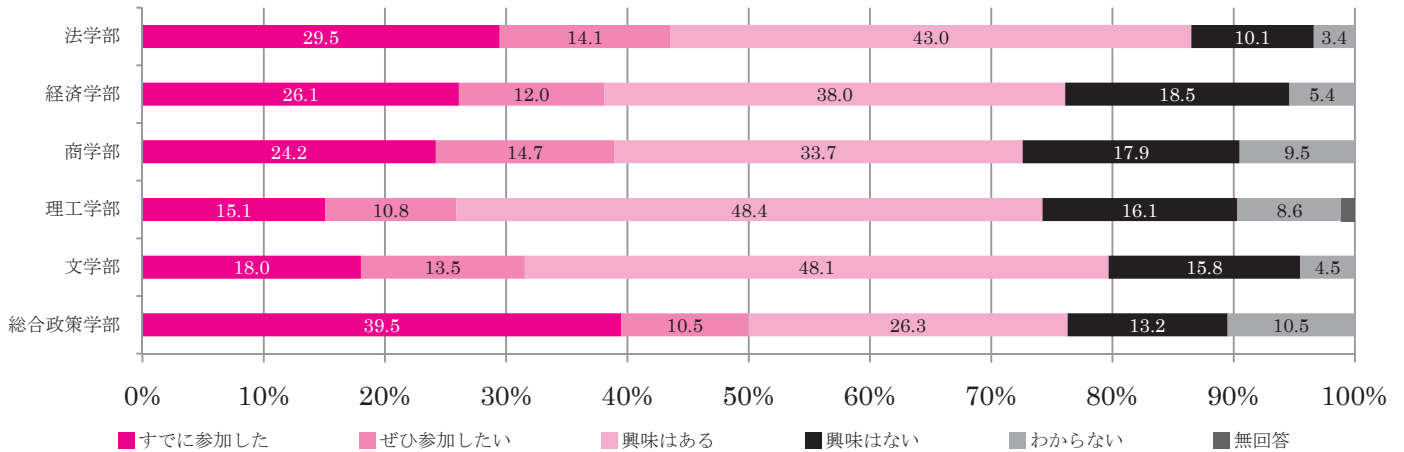
となっている。



## Q39. インターンシップに参加したいと思うか。

「すでに参加した」(24.0%)、「ぜひ参加したい」(13.0%)、「興味はある」(41.7%)と78.7%の学生が関心を示し、前回調査73.7%、前々回調査61.4%と調査ごとに意識が向上している。

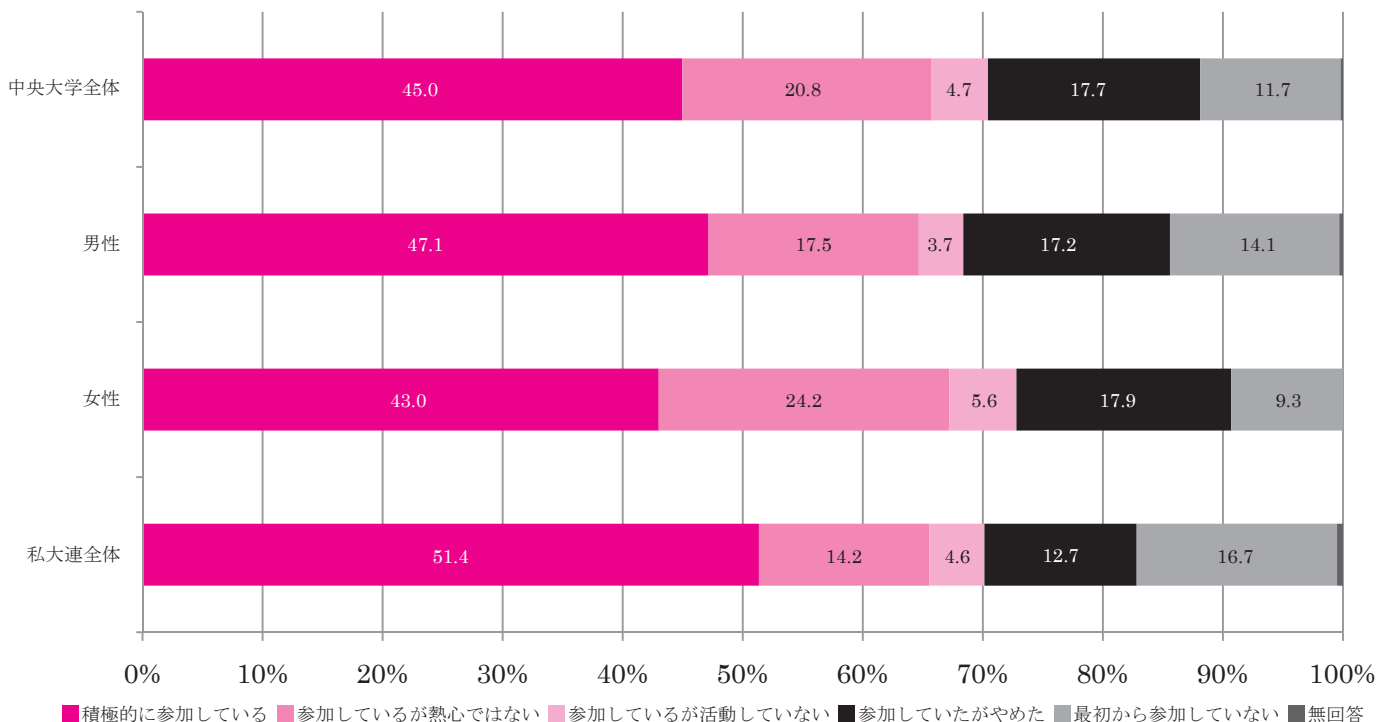
1・2年次生が、「ぜひ参加したい」、「興味はある」と7割以上が回答し、3年次生で44.1%が「すでに参加した」と回答していることから、希望を具現化していることが伺える。



## Q40. 課外活動（クラブ、サークル活動、ボランティア）に参加しているか。

「積極的に参加している」と回答した学生が、前回調査(39.2%)より増加し、45.0%となったが、私大連全体より低い割合が今回(51.4%)、前回(49.5%)、前々回(46.5%)調査と連続している。学部別では、文学部で「積極的に参加している」と回答した学生が、51.1%と高い割合となった。

男子学生は、「積極的に参加している」割合が47.1%と高い反面、「最初から参加していない」割合も14.1%と高くなっている。

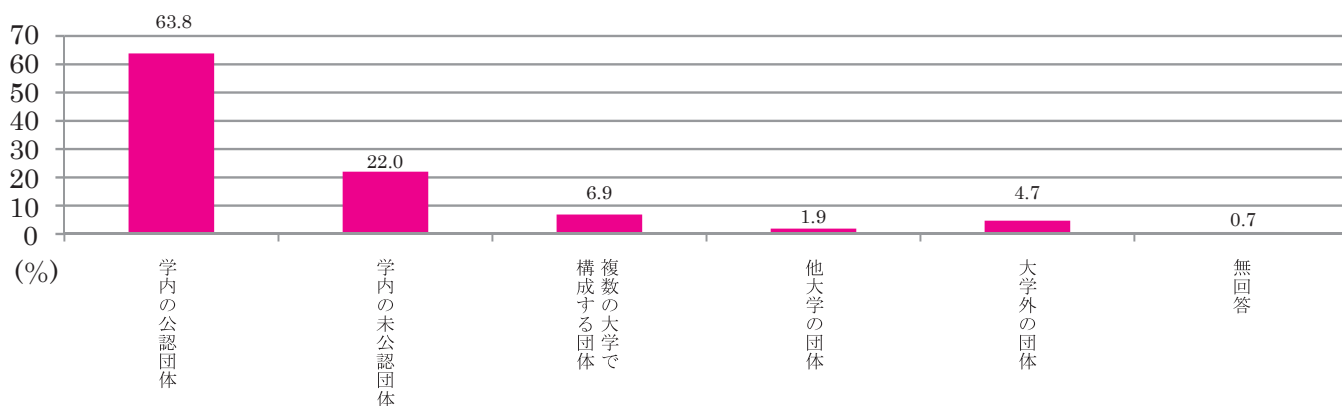


## Q41. 課外活動と授業は両立しているか。

「両立している」(47.5%)、「まあ両立している」(31.9%)が合わせて79.4%となり、両立している割合が高い。学部別では、総合政策学部が、「両立している」(68.2%)と「まあ両立している」(22.7%)を合わせて、90.9%と高い割合となった。

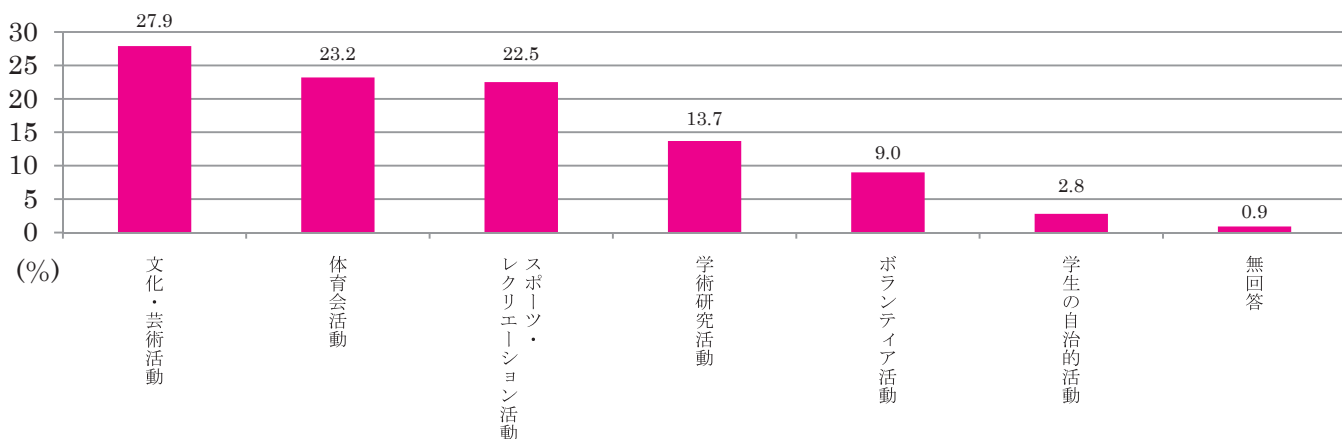
## Q42. 参加している課外活動団体は主として次のどれに該当するか。(Q40で「積極的に参加している」「参加しているが熱心ではない」「参加しているが活動していない」と回答した学生のみ)

「学内の公認団体」が63.8%、「学内の未公認団体」が22.0%と、学内の団体が85.8%を占めている。学部別では、商学部が「学内の公認団体」の割合が70.1%と高く、理工学部と総合政策学部が「複数の大学で構成する団体」の割合が、それぞれ12.1%と13.6%と平均より高い割合となった。



## Q43. 参加している主なクラブ、サークルなどは次のどれか。(Q40で「積極的に参加している」「参加しているが熱心ではない」「参加しているが活動していない」と回答した学生のみ)

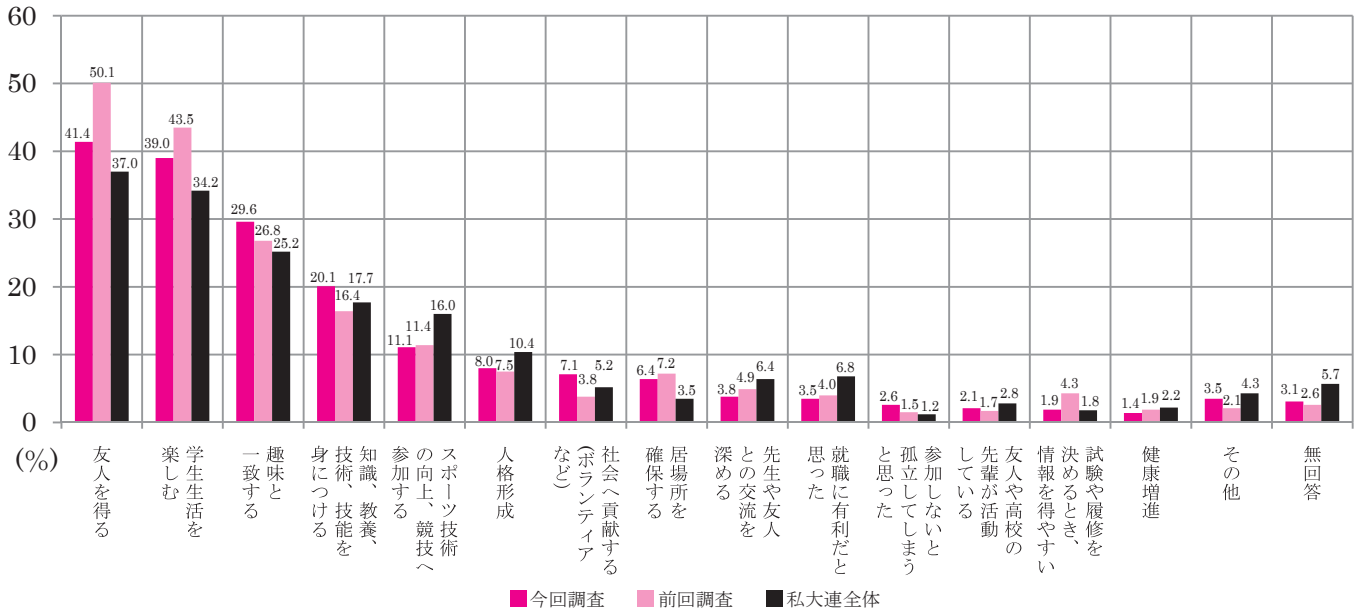
前回調査と比較して、上位3項目である「文化・芸術活動」(前回調査: 22.7%)、「体育会活動」(前回調査: 27.1%)、スポーツ・レクリエーション活動(前回調査: 30.0%)が逆転する結果となった。また、「ボランティア活動」については、順位に変動はなかったが、前回調査の4.3%を大きく上回り、9.0%となった。



Q44. 課外活動に参加している目的は。(2つまで選択。Q40で「積極的に参加している」「参加しているが熱心ではない」「参加しているが活動していない」と回答した学生のみ)

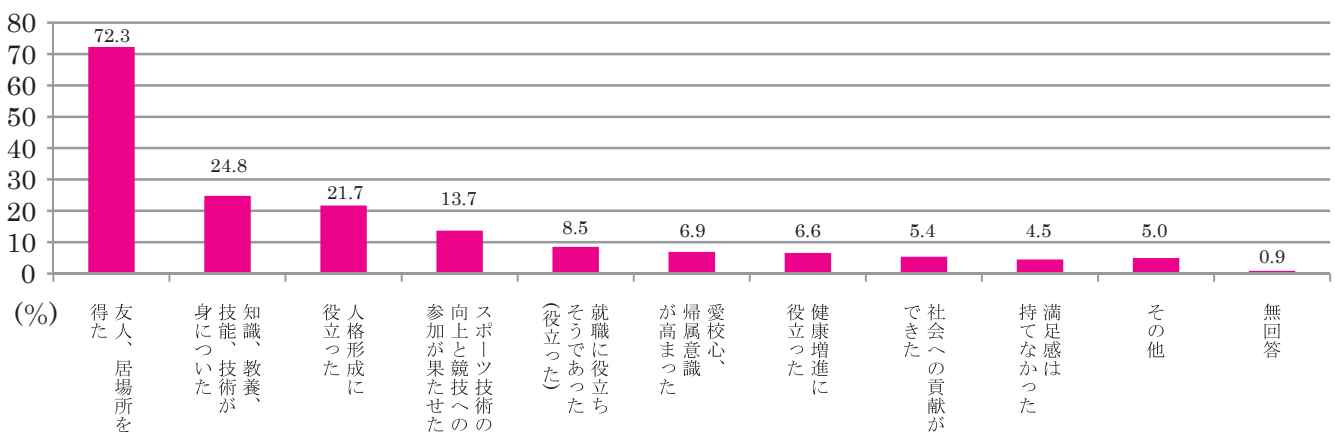
今回調査と前回調査を比較して、「友人を得る」、「学生生活を楽しむ」、「趣味と一致する」といった回答の上位3つに変動はなかった。

「知識、教養、技術、技能を身につける」と「社会へ貢献する(ボランティアなど)」の比率が高くなり、「友人を得る」と「学生生活を楽しむ」の比率が低くなった。



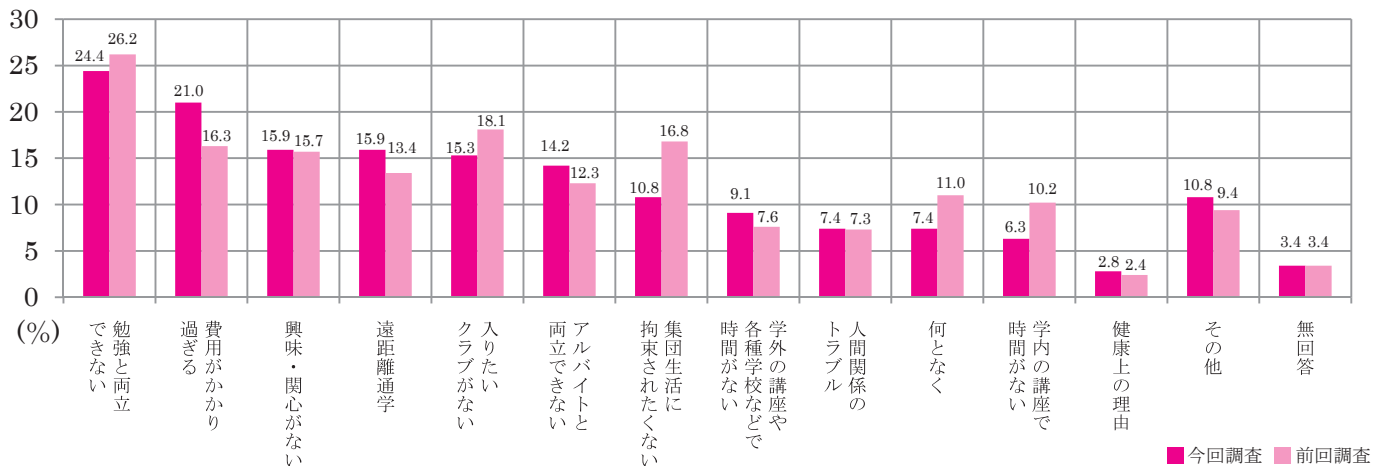
Q45. 課外活動について、満足度の高いものは。(2つまで選択。Q40で「積極的に参加している」「参加しているが熱心ではない」「参加しているが活動していない」と回答した学生のみ)

満足度としての回答としては、「友人・居場所を得た」が72.3%となったとおり、Q44の回答で比率が高かった「友人を得る」ことの達成度が高いことが伺える。



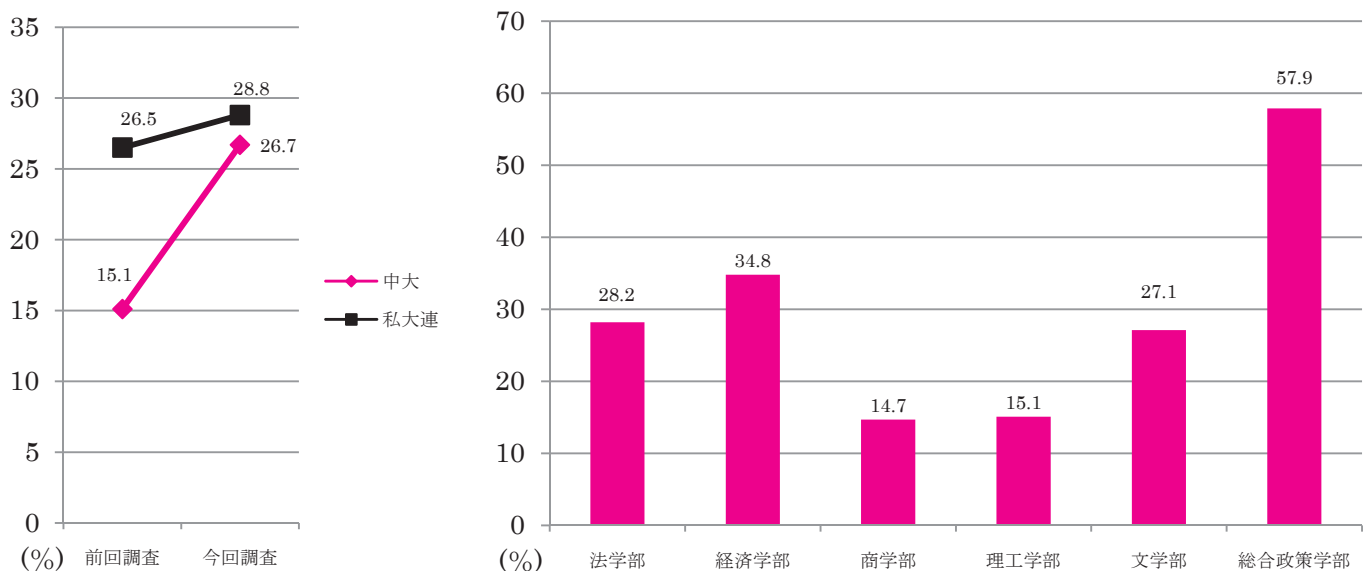
## Q46. 課外活動に不参加の理由は。(2つまで選択。Q40で「参加していたがやめた」「最初から参加していない」と回答した学生のみ)

今回調査と前回調査を比較して、「集団生活に拘束されたくない」の比率が大幅に低くなったかわりに、「費用がかかり過ぎる」の比率が高い結果となった。特徴のある学部としては、法学部の「勉強と両立ができない」が33.3%、商学部の「興味・関心がない」が32.1%、理工学部の「費用がかかり過ぎる」が38.5%、「入りたいクラブがない」が34.6%、文学部の「アルバイトと両立できない」が28.6%といった結果となった。また、「自宅生」か「自宅外生」かで不参加理由に大きな違いがあり、「勉強と両立できない」(自宅生 22.1%、自宅外生 28.3%)以外の理由として、「自宅生」では「遠距離通学」(21.3%)、「自宅外生」では「費用がかかり過ぎる」(30.2%)が高い割合となった。



## Q47. 大学入学後、ボランティア活動に参加したことがあるか。

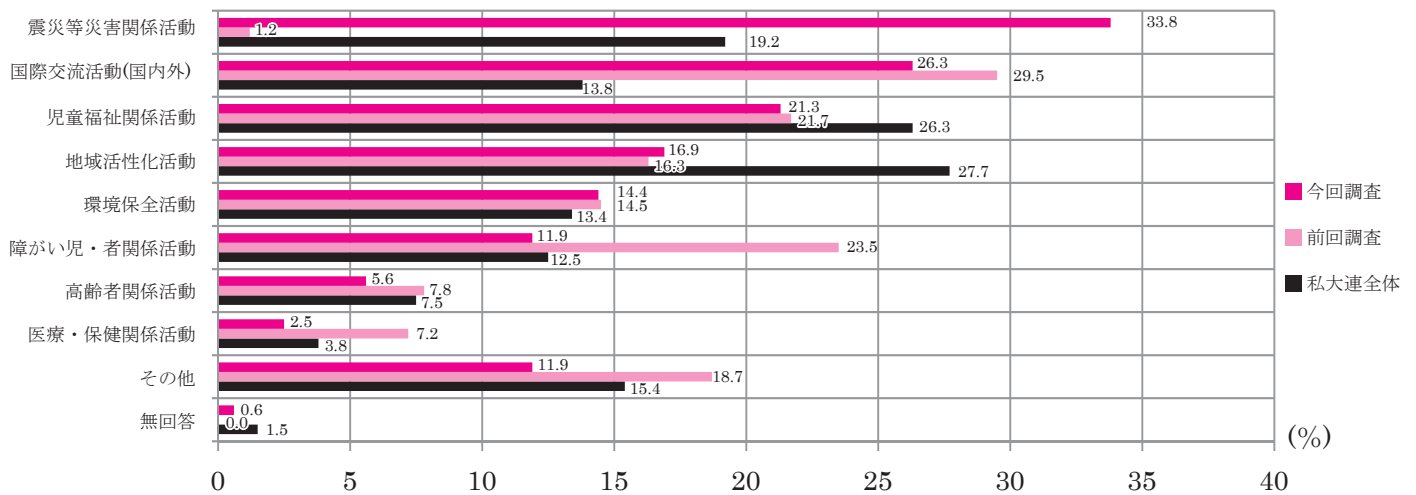
今回調査では、「ある」が26.7%と前回調査の15.1%から高くなったが、依然、私大連全体の割合には届かない結果となった。特徴として、「留学したことがある」と回答した学生のうち「ある」と回答した割合が54.1%となり、留学した学生は、ボランティア活動にも参加する傾向が伺える。



## Q48. どのようなボランティア活動に参加したか。(3つまで選択)

今回調査では、「震災等災害関係活動」の比率が大幅に高くなった。男女別では、「障がい児・者関係活動」(男子学生 4.3%、女子学生 18.0%)と「国際交流活動(国内外)」(男子学生 20.0%、女子学生 31.5%)において参加した割合に大きな開きがあった。

また、学部別では、総合政策学部は「震災等災害関係活動」(59.1%)、商学部は「国際交流活動」(42.9%)、文学部は「児童福祉関係活動」(44.4%)が高い割合となった。



## Q49. ボランティア活動に参加した理由は。(2つまで選択。Q47で「ある」と回答した学生のみ)

参加理由としては、Q48の回答で大幅に高くなった「震災等災害関係活動」に連動するように、「困った人を助けたい」が前回調査の15.7%から27.5%と大幅に高くなった。また、「社会勉強」と回答する割合も、前回調査の36.7%から41.9%と高くなった。

また、私大連全体と比較しても、「社会勉強」、「困った人を助けたい」、「自分を試したかった」といった項目の割合が高く、主体的に取り組む姿勢が伺える結果となった。

